

歯科口腔外科手術中に経鼻気管チューブを固定するための新しい器具の有用性についての研究へのご協力をお願い

当科では、歯科口腔外科手術中に経鼻気管チューブを固定するための新しい器具（別紙をご参照ください）の有用性についての研究を行なっております。以下の説明をご覧の上、ご協力頂けますようお願い致します。

1. 研究の対象

東京歯科大学市川総合病院にて2018年1月～2019年12月に歯科口腔外科または口腔がんセンターの全身麻酔下手術を受け、新しい固定装置を使用して経鼻挿管チューブを固定した方

2. 研究目的・方法

[目的]

全身麻酔下の歯科口腔外科手術において、手術中は人工呼吸のためのチューブを鼻から気管に挿入します。挿入後、気管チューブが抜けてしまわないように固定しますが、固定方法は各施設で異なりこれまで様々な方法が行われてきました。しかし、その方法は確立されておらず、これまでの固定法では経鼻気管チューブによる鼻孔周囲の損傷、前額部の損傷などいくつかの合併症が発生してしまう可能性があります。そこで当施設ではそれらの合併症の発生を予防するために、3Dプリンターを用いて経鼻気管チューブおよび麻酔回路の固定器具を作製し使用しております。本研究の目的は、われわれが作製した新たな固定器具が合併症を減少させたかどうかを確認することです。なお、この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会の承認と病院長の許可を得て行われております。

[方法]

2018年1月～2019年12月に東京歯科大学市川総合病院で歯科口腔外科および口腔がんセンターの全身麻酔下手術を受けられた患者様のカルテと麻酔記録をもとに、われわれが作製した新たな固定器具使用時および使用後の合併症の有無を調べます。

なお、本研究は安全性の向上、医学の発展に役立てる目的で行わせるものであり、当院および研究担当者に営利目的の企業からの金銭の提供や授受はありません。

[研究期間]

倫理審査委員会承認後～令和2年12月31日まで

3. 研究に用いる資料・情報の種類

資料：なし

情報：カルテ番号、本固定器具による合併症の有無（有りの場合はその内容）

4. データ提供について

本研究は、現在および将来的な治療の発展を目的として行いますが、ご自身のデータを提供していただけるかどうかは患者様ご自身の自由です。提供へ同意をいただいた後に参加をとりやめるのも自由です。また、このデータ提供に同意されなくても、またデータ提供後に参加をとりやめることがあったとしても、あなたが今後治療において不利益な対応を受けることはありません。研究への参加を望まない場合は、下記連絡先までお申し出ください。

5. お問い合わせ先

この研究について何かお聞きになりたいことがありましたら、いつでもご遠慮なく下記の研究責任者までお問い合わせください。

照会先および研究への参加を拒否する場合の連絡先

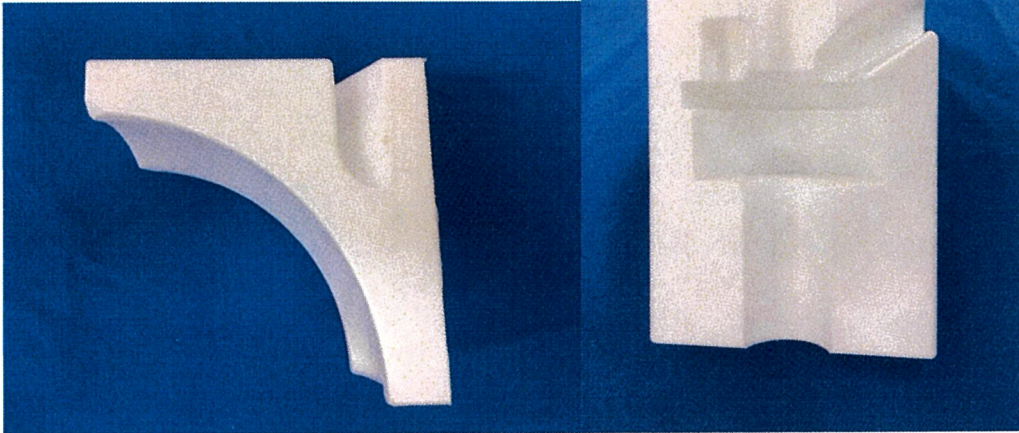
〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

研究責任者 麻酔科 小鹿恭太郎

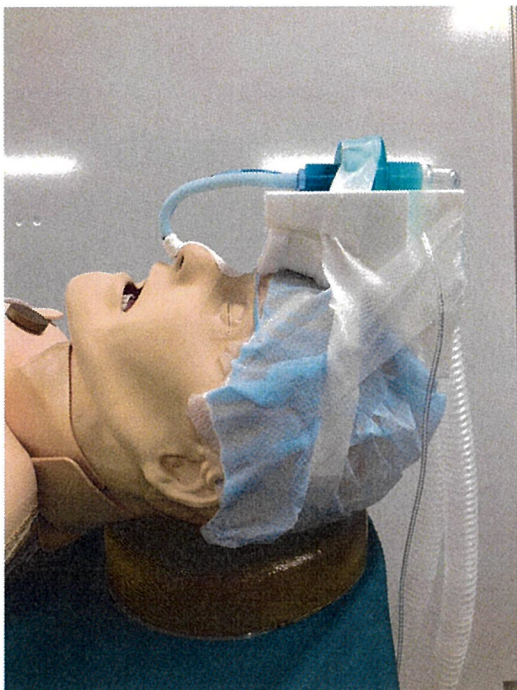
電話：047-322-0151

経鼻気管チューブを固定するための新しい器具



固定器具（側面）

固定器具（上面）



固定器具装着後